

第1学年 国語科年間指導計画 単元一覧表

一学期	月	単元名	時数	主な学習活動
				伝・・・「伝統的な言語活動と国語の特質に関する事項」
一学期	4月	あさ	2 話聞 2	◎教師の問いかけに対して絵を見て見つけたことを、想像して話すことができる。
		さあ はじめよう なんて いおうかな	2 話聞 2	◎相手や場面に応じて適切な言葉遣いで話すことができる。
		どんな おはなしかな	2 読 2	◎本や作品の読み聞かせを、想像を膨らませながら楽しく聞くことができる。
		どうぞ よろしく ㊦	3 読聞 1 書 2	◎友達に知ってもらいたいことを考え、自己紹介をしあうことができる。
		こえの おおきさ どうするの	1 話聞 1	◎場面に合わせた声の大きさを話することができる。
		うたにあわせて あいうえお	2 読 2	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。
	5月	ことばをつくろう	2 書 2	◎文節と文字の関係に気付くことができる。
		えをみて はなそう	2 話聞 2	◎絵を見ながら型に合わせて尋ねたり、質問に答えたりすることができる。 ◎主語と述語の関係に注意することができる。
		かきと かぎ	2 書 2	◎平仮名で濁音を含む単語を書くことができる。
		あさの おひさま	1 読 1	◎リズムや繰り返しを意識しながら音読することができる。
		はなのみち	6 読 6	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。
		ぶんをつくろう	4 書 4	◎主語と述語の関係に注意して「～が、～する。」という文型の文を書くことができる。
	6月	ねことねっこ	2 書 2	◎促音や半濁音の言葉を見付けて、正しく書くことができる。
		わけを はなそう	2 話聞 2	◎気持ち話を話した後にそのわけを話すことができる。
		おばさんと おばあさん	2 書 2	◎長音の言葉を集め読み書きできるとともに助詞「を」を正しくつかうことができる。
		くちばし	8 読 6 書 2	◎説明の順序や内容を考えながら読むことができる。
		おもちゃと おもちゃ	2 書 2	◎拗音のある言葉を集め、読み書きできるとともに、助詞「へ」を文の中で正しく使うことができる。
		おもいだして はなそう	3 話聞 3	◎自分の体験を思い出し、姿勢や話し方に注意して順序立てて話すことができる。
		あいうえおで あそぼう	3 読 1 話聞 1 伝 1	◎はっきりした発音や口形に気を付けて声をだすことができる。
		おおきく なった ㊦	4 書 4	◎書こうとする題材に必要な事柄を、対象を観察して集めることができる。
おむすび ころりん ㊦		5 読 5	◎語や文のまとまりや内容、文のリズムに注意しながら声に出して読むことができる。場面の様子を、想像を広げながら読むことができる。	
たからものを おしえよう		4 話聞 4	◎自分の大切な物について姿勢や話し方に注意して順序立てて友達に説明できる。	
7月	はをへをつかおう	3 書 3	◎語と語をつなぐ助詞「は・を・へ」を使って正しく文を書くことができる。	
	すきな こと、なめに ㊦	4 書 4	◎「すきなもの」と「その理由」をその順序で2文で書く。 ◎書いたものを読み合い、感想を伝え合う。	
	おおきな かぶ ㊦	6 読 6	◎繰り返しの言葉や文章のリズムを生かして音読することができる。	
	ほんは ともだち	2 読 2	◎自分の読みたい本を選んで読むことができる。	
	こんなことをしたよ	6 書 6	◎知らせたい体験を決めて必要な事柄を思い出し、語と語、文と文とのつながりに気を付けて書き、交流することができる。 ◎長音、拗音などの表記や助詞を正しく使うことができる。	
二学期	9月	いちねんせい の うた	2 読 2	◎語のまとまりや言葉の響きなどを考えながら、工夫して音読することができる。
		なつやすみのことを はなそう	4 話聞 4	◎経験の中からみんなに話したいことを選び、話の順序を考えながら丁寧な言葉を使って話すことができる。
		ひらがな あつまれ	2 書 2	◎平仮名を読んだり書いたりすることができる。
		おはなしを たのしもう ゆうやけ	8 読 8	◎登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。
		かたかなを みつけよう	2 書 2	◎片仮名の語を正しく読み、片仮名で書く言葉を見付けて書くことができる。
		よんで たしかめよう うみのかくれんぼ ㊦	8 読 8	◎事柄の順序や文章構成上の順序を考えながら読むことができる。

10月	かんじで かこう かずとかんじ	4 書2 伝2	◎一から十までの漢字を読んだり書いたりすることができる。 ◎数を表す漢字やいろいろな数え方を書くことができる。	
	こえに だして よもう くじらぐも	8 読8	◎場面の様子を想像し、その様子が表れるように、声に出して読むことができる。	
11月	よく 見て かこう しらせたいな、見せたいな	10 書10	◎書こうとする題材に必要な事柄をよく観察し、語と語や文と文の続き方に気を付けて書くことができる。 ◎句読点を使って文章を書くことができる。	
	まちがいを なおそう	2 書2	◎書いた文章を読み返したり、間違いを正しく直したりすることができる。	
	かん字の はなし	6 伝3 書3	◎第一学年に担当されている漢字を読んだり書いたりし、漢字を使った文の続き方に注意して書くことができる。	
12月	ことばを 見つけよう	2 伝2	◎文の中に隠れた言葉を補いながら言葉遊びの文を読んだり、意味を考えながら言葉遊びの文を作ったりすることができる。	
	くらべて よもう じどう車くらべ	12 読6 書6	◎知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本や文章から大事な文を書き抜くことができる。 ◎長音・拗音・促音などの表記や句読点を正しく使って書くことができる。	
	かたかなを かこう	2 書2	◎片仮名の語を正しく読んだり、片仮名で書く語を使った文を書いたりすることができる。	
	まの いい りょうし	1 読1	◎読み聞かせを聞きながら昔話を楽しみ、感想を伝え合うことができる。	
	ほんは ともだち むかしばなしがいつぱい	3 読1 伝2	◎日本や外国の昔話を読んだり、読み聞かせを聞いたりし、お話の好きなところを紹介することができる。	
	きいて しらせよう ともだちに、きいてみよう	4 話聞4	◎話す順序を考えながら丁寧な言葉で話したり大事なことを落とさずに聞いたりすることができる。	
三学期	日づけと よう日	3 伝1 書2	◎日付の歌を唱え、日付と曜日の読み方を知り、書けるようになる。	
	本は ともだち 本を えらんで よもう ずうっと、ずっと、大すきだよ	8 読4 書4	◎読みたい本を選び、登場人物の行動を中心に想像を広げ好きなところを見つけながら読むことができる。 ◎文と文の続き方に注意しながら、紹介した本のカードを書いたり、書いたものを読んで感想を伝え合ったりすることができる。	
	1月	こえに だして よもう てんとうむし	2 読2	◎語のまとまりごとに意味を考えながら音読することができる。
	ことばって、おもしろいな ものの 名まえ	6 伝4 話聞2	◎意味による語句のまとまりや上位語・下位語の関係に気付くことができる。	
	かたかなの かたち	3 書3	◎平仮名と片仮名を関係づけ、形の似た仮名に注意して書くことができる。	
	てがみをかこう てがみで しらせよう	6 書6	◎経験したことから書く題材を決め、文と文の続き方に注意して書くことができる。 ◎句読点の打ち方や主語と述語の関係に注意し、敬体を使って書くことができる。	
	2月	おはなしを たのしもう たぬきの糸車	8 読8	◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げお話を楽しみながら読むことができる。 ◎主語と述語の関係に気をつけて読むことができる。
		ことばを たのしもう	2 伝2	◎音節と文字の関係や単語とそれを構成する文字の関係に気付くことができる。
		ふたりで かんがえよう これは、なんでしょう	4 話聞4	◎話題に沿って話し合い、わからないことを尋ねたりそれに答えたりすることができる。
		ちがいを かんがえて よもう どうぶつの 赤ちゃん	10 読10	◎時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。
にている かん字	3 伝3	◎主語や述語の関係に注意して、敬体で書かれた説明を理解できる。 ◎形の似ている漢字に注意して、第一学年に担当されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。		
3月	すきな ところを さがして よもう だって だつての おばあさん	8 読8	◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げ好きなところを見つけながら読むことができる。	
	おもい出して かこう いい こと いっぱい、 一年生	12 書12	◎経験したことから書く題材を決めて必要な事柄を集め、順序を考えながら文と文の続き方に注意して書くことができる。 ◎書いた文章を読み返して間違いなどを正したり、感想を伝え合ったりすることができる。 ◎句読点の打ち方やカギの使い方を理解して、文の中で正しく使うことができる。	

第2学年 国語科年間指導計画 単元一覧表

一学期	月	単元名	時数	主な学習活動 伝・・・「伝統的な言語活動と国語の特質に関する事項」
一学期	4月	じゅんばんに ならぼう	1 話聞 1	◎興味をもって、大事なことを落とさないように聞くことができる。
		音読しよう ふきのとう	10 読 8 書 2	◎「人物」をもとに役に分かれ、語のまとまりや響きに気を付けて音読することができる。
		春が いっぱい	2 伝 1	◎春にかかわる言葉を探し、経験と結び付けて文章に表すことができる。
		書く ことを きめて、 しらせよう 今週の ニュース	4 書 4	◎友達に知らせるために身近な出来事から書くことを決め、出来事の様子や自分の気持ちを書くことができる。
	5月	じゅんじょに 気をつけて 読もう たんぼぼの ちえ	10 読 10	◎時間の順序や理由を表す言葉に着目し、様子とそのわけなどを考えながら説明的文章を読むことができる。 ◎大事な言葉や文を書き抜き、経験と結び付けて自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。
		かん字の ひろば①	2 書 2	◎1年生で習った漢字を文の中で正しく書くことができる。
		ていねいに かんさつして きろくしよう かんさつ名人に なるう	14 書 14	◎丁寧に観察し気付いたことやわかったことを集めることができる。
	6月	きいて たのしもう いなばの 白うさぎ	2 伝 2	◎人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら、神話の読み聞かせを聞くことができる。
		かたかなの ひろば①国	2 書 2	◎片仮名を読んだり書いたりすることができる。
		ともこさんは どこかな	4 話聞 4	◎話の内容に興味をもち、大事なことを聞き落とさないようにしながら聞くことができる。
		同じぶぶんをもつかん字	2 伝 2	◎漢字には、同じ部分をもつものがあることを知り、部分に注意して漢字を読んだり書いたりすることができる。
		お話を 読んで、かんそう を 書こう スイミー	1 0 読 9 書 1	◎文章中の大事な言葉や文を書き抜き、それをもとに感想を書くことができる。
		かん字の ひろば②	2 書 2	◎1年生に担当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
	7月	こんなもの みつけたよ 【コラム】丸、点、かぎ	8 書 8	◎「はじめ・中・おわり」自分の思いを書くことができる。 ◎書いたものを読み合い感想を伝え合うことができる。
うれしい ことば		2 書 2	◎人を嬉しい気持ちにさせる言葉の働きに気付くことができる。	
本は友だち ミリーのすてきなぼうし 【コラム】本の分けかた ならべかた		6 読 6	◎お話クイズを作るという目的をもって本や文章を選んで読むことができる。	
かん字のひろば③		2 書 2	◎1年生に担当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。	
夏がいっぱい		2 書 2	◎夏にかかわる言葉を探し、経験に結び付けて文章に表すことができる。	
二学期		9月	おおきなあれ	2 読 2
9月	大すきなもの 教えた	5 話聞 5	◎伝えたいことについて必要な材料を集め、話す順序を考え丁寧な言葉づかいで話すことができる。	
	カンジーはかせの大はつ めい	2 伝 2	◎クイズを通して漢字の構成や熟語について理解することができる。	
	ことばであそびをしよう	1 伝 1	◎平仮名を組み合わせて意味のある言葉を作ることができる。	
	読んで考えたことを話そう どうぶつ園のじゅうい	1 2 読 9 書 3	◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、自分の知識や経験と結び付けて感想をまとめ発表し合うことができる。	
	音読げきをしよう お手紙	1 2 読 10 書 2	◎場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像をひろげながら読み、声の出し方などを工夫して音読劇をすることができる。	
10月				

		主語と述語	2 伝2	◎文の中にある主語述語に気付き、その関係を理解して日常生活に生かすことができる。
		かん字の読み方	2 伝2	◎漢字にはいろいろな読み方をするものがあることを理解し、文の中で正しく使うことができる。
		秋がいっぱい	2 書2	◎秋に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章に表すことができる。
11月		まとまりに分けて お話を書こう お話のさくしゃになろう	10 書10	◎絵を見て想像したことから書くことを決め「初め・中・終わり」のまとまりのある短い物語を書くことができる。
		かたかなで書くことば ^国	2 書2	◎片仮名で書く言葉の種類を知り、片仮名を使った文を書くことができる。
		せつめいのしかたに気をつけて読もう しかけカードの作り方	6 読6	◎順序を考えて教材文を読み説明の仕方について考えることができる。
		おもちゃの作り方	6 書6	◎説明の順番を考え、言葉のまとまりに気を付けながら文章を書くことができる。
12月		組み立てを考えて発表しよう あったらいいな こんなもの	14 話聞14	◎自分が考えた道具について相手にわかるように話す事柄の順序を考え声の大きさや速さなどに気を付けて丁寧な言葉で話すことができる。
		にたいみのことば はんたいのいみのことば	2 伝2	◎類義語や対義語に興味をもち言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。
		お話のじんぶつと自分を くらべて読もう わたしはおねえさん ^キ	10 読10	◎登場人物の行動を捉えて想像を広げながら読み、自分の経験と結び付けて、感想をもつことができる。
		かん字の広場 ^④	2 書2	◎1年生に担当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
		冬がいっぱい	2 書2	◎冬にかかわる言葉を探し、自分の経験と結び付けて文章にまとめることができる。
三学期	1月	てのひらを太陽に ^平	2 読2	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて詩を音読することができる。
		ようすをあらわすことば	4 書2 伝2	◎様々な様子を表す言葉について知り、言葉への興味を広げることができる。
		見たこと、かんじたこと	5 書5	◎経験したことから書く題材を決め、教科書の例を参考にして短い詩を書くことができる。
		三まいのおふだ	1 読1	◎興味をもって読み聞かせを聞き、登場人物の行動を中心に想像を広げ感想を伝え合うことができる。
		知っていることとつなげて読もう おにごっこ	10 読10	◎身近な遊びを説明する文章を読み、自分の経験と結び付けて、思いや考えを発表することができる。
	2月	かん字の広場 ^⑤	2 書2	◎1年生に担当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
		みんなできめよう ^キ	8 話聞8	◎伝えたいところに気を付けて互いの話を聞き合い話題に沿って話し合うことができる。
		なかまのことばとかん字	2 伝2	◎仲間の言葉や漢字を知り、文や文章の中で正しく使うことができる。
		お話をそうぞうしながら読もう スーホの白い馬 ^{才 国}	12 読12	◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。
	3月	ことばを楽しもう	1 伝1	◎回文を楽しみ言葉のおもしろさに気付くことができる。
	できごとや気もちが伝わるように書こう 楽しかったよ、二年生 ^キ	14 書14	◎2年生の思い出の中から書く事柄を決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。	

第3学年 国語科年間指導計画 単元一覧表

一学期	月	単元名	時数	主な学習活動
一学期	4月	よく聞いてじこしょうかい	1 話聞1	◎相手によくわかるようにはっきり話したり友達の話をよく聞いたりできる。
		どきん	1 読①	◎擬音語・擬態語・文末表現の響きやリズムから様子を想像しそれが表れるよう声に調子をつけて音読することができる。
		場面のようすを思いうかべ 音読しよう きつつきの商売	9 読8 書1	◎場面の様子や違いに注意しながら音読を工夫し、発表することができる。
		国語辞典のつかい方		◎国語辞典の使い方を理解し、必要に応じて活用することができる。
		漢字の音と訓	2 伝2	◎漢字には音読みと訓読みがあることを理解することができる。
		春の楽しみ	2 書2	○春の行事に興味をもち、それにかかわる語句を集めることができる。
	5月	よい聞き手になろう きちんとつたえるために こそあど言葉	5 話・聞4 伝1	◎話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりできる。
		漢字の広場①	2 書2	◎2年生までに配当されている漢字を使った文を正しく作ることができる。
		まとまりをとらえて読み、 かんそうを話そう 言葉で遊ぼう こまを楽しむ	9 読8 書1	◎「段落」について知り、「はじめ・中・おわり」の文章全体の構成をや、それぞれの段落の内容をとらえることができる。
		俳句を楽しもう 良寛・芭蕉など	1 伝国1	◎大意などを手がかりに情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら俳句を音読し、文語の調子に親しむことができる。
		気になる記号 符号など	12 書⑫	◎報告するために必要な事柄を調べ、報告する文章の構成に沿って文章を書くことができる。 ◎書いた文章を読み合い、意見や感想を伝え合う。
		6月	漢字の広場②	2 書2
たのきゅう	1 読①		◎読み聞かせを聞き、登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、場面の様子の想像を広げることができる。	
夏の楽しみ	2 書2		○夏の行事に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。	
もうすぐ雨に	6 読6		◎文章を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくことができる。	
「ありがとう」をつたえよう	5 書5		◎目的や必要に応じて気持ちが変わるように書き方を工夫した手紙を書くことができる。 ◎相手や目的に応じて常体を敬体を使い分けて書くことができる。	
7月	漢字の広場③		2 書②	◎絵を見て、2年生までに配当されている漢字を使った文を作る。

		本は友だち 本を使って調べよう 里山は未来の風景 本の分類表	5 読5	◎目的に応じ、いろいろな本や文章を選んで読むことができる。
二 学 期	9 月	わたしと小鳥とすずと 山のとっぺん	2 読②	◎音読を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。
		つたえよう楽しい学校生活 インタビュー ㊦	15 話・聞15	◎互いの考えの共通点や相違点を整理し、司会や提案などの役割を果たしながら話し合うことができる。
		へんとつくり	2 伝国2	◎漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつことができる。
10 月		ローマ字 ㊧	5 伝国5	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くことができる。
		場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう ㊨ ㊩	10 読10	◎場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。
		漢字の広場④	2 書2	◎2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。
		修飾語	2 伝国2	◎修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつことができる。
		秋の楽しみ	2 書2	◎秋の行事に興味をもちそれに関わる語句をふやすことができる。
		11 月	11	せつめいのくふうについて話し合おう すがたをかえる大豆 ㊪ 絵や写真を使ってせつめいする
		食べ物のひみつを教えませう ㊫	8 書8	◎目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。 ○「はじめ・中・おわり」の構成を意識し、「中」の例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。 ・書いたものを読み合い、意見を伝え合う。
		短歌を楽しもう ㊬	1 伝国1	◎知っている言葉を手がかりにして情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら短歌を音読し、文語の調子に親しむことができる。
		漢字の意味	2 伝国2	◎同じ発音でも意味の違う漢字があることを理解し、適切に漢字を使うことができる。
12 月		おもしろいと思うところをしょうかいしよう 三年とうげ	6 読6	◎物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができる。 ○物語の組み立てをとらえ、登場人物の気持ちの変化や情景を想像することができる。
		たから島のぼうけん	8 書8	◎「はじめ・中・おわり」の組み立てを使い物語の構成を考えることができる。 ○場面の様子や人物の気持ちを詳しく書いたり会話文を入れた

		※日本橋かるたの取組		りして想像したことなどをもとに物語を書くことができる。 ○文字や句読点の位置、文章表現に気を付けながら推敲することができる。
		漢字の広場⑤	2 書2	◎2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。
		言葉を分類する	4 書4 伝国2	◎言葉の性質に着目して言葉を分類できる。 ○「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「ものや事を表す言葉」を使って文章をよりよい表現に書き直すことができる。
		冬の楽しみ	1 書①	◎冬の行事に興味をもち、それに関する語句を増やすことができる。 ○冬に関する言葉を集めて文を作ることができる。
三 学 期	1 月	雪 ゆき 雪	4 読② 書②	◎自分の気に入った詩を集めるためテーマを決めて詩集を読むことができる。 ○言葉の響きやリズムなどから、様子を想像し、それが表れるように音読することができる。
		考えの進め方をとらえて 科学読み物をしょうかい しよう ありの行列	7 読7	◎実験と考察に注意しながら各段落の内容を読み取り論の進め方を捉え文章の内容を簡潔にまとめることができる。 ○指示語や接続語には、文章の論理的な関係を作る働きがあることを理解する。
		しりょうから分かる、小 学生のこと 【コラム】見せながら話 すときには	7 話・聞7	◎相手を見て大事な部分や言葉を強調したり、間の取り方に注意したりして話すことができる。 ○関心のあることなどから話題を決め、分かったこと、考えたことについて、筋道を立て話すことができる。
	2 月	コンピュータのローマ字 入力	2 伝国2	◎ローマ字でコンピュータに言葉を入力することができる。
		カンジーはかせの音訓か るた	2 伝国2	◎3年生で学習する漢字を読むことができる。 ※日本橋かるた大会に関連させて2学期に取り組むことも考えられる。
		本で調べて、ほうこくす る文章を書こう ことわざについて調べよ う	14 書14	◎ことわざや故事成語の中から調べたいことを決め必要な事柄について本や辞典を読んで調べることができる。 ◎書いた文章を見直しより分かりやすく正確な言葉や表現にすることができる。 ○調べて分かったことを事柄を挙げながら文末を統一して書くことができる。
	3 月	漢字の広場	2 書2	◎絵を見て2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。
		心に残ったことを自分の 言葉でしょうかいしよう モチモチの木	13 読12 書1	◎登場人物の行動や会話から、人物の人柄や気持をとらえて読むことができる。 ○心に残った事を中心にポスターをつくり感想を伝え合うことができる。
		わたしの三大ニュース	2 書2	◎3年生の生活を振り返り友達に知らせたい三大ニュースを決め、書くことができる。 ○理由や事例を挙げながら書くことができる。

第4学年 国語科年間指導計画 単元一覧表

一学期	月	単元名	時数	主な学習活動 伝・・・「伝統的な言語活動と国語の特質に関する事項」
4月		ばらばら言葉を聞き取ろう	1 話聞1	○相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すことができる。
		春のうた	1 読1	◎情景を想像し、リズムを楽しみながら工夫して音読することができる。
		登場人物の人がらをとらえ話し合おう 白いぼうし	8 読7 書1	◎場面の移り変わりに注意しながら、中心人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。
		漢字の組み立て	2 伝国2	◎漢字へんづくりなどの構成について知識をもつことができる。
		漢字辞典の使い方	伝国2	◎漢字辞典の使い方を知り、漢字の部首や成り立ちや画数についての知識をもつことができる。
		春の風景	2 書2	○春の風景に興味をもちそれに関わる語句を増やすことができる。
		よりよい話し合いをしよう 【コラム】 話す言葉は同じでも 田	話・聞④	◎司会や提案者などの役割を理解し、目的に向かって、互いの考えの共通点や相違点を考えながら話し合うことができる。
5月		きょうみをもったところを 発表しよう 大きな力を出す 動いて、考えて、また動く	8 読8	◎文章を読んで考えたことを発表し合い、友達の考えの明確さなどについて意見を述べ合うとともに、感じ方の違いに気付くことができる。 ◎筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係をとらえて、段落相互の関係を考えることができる。 ○文章の要点や細かい点に注意しながら読み、必要に応じて引用したり要約したりする。 ・筆者の考えについて自分の考えをまとめる。
		漢字の広場①	2 書2	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。
		短歌・俳句に親しもう (一) 国 団	1 伝1	◎短歌や俳句を音読して、情景を想像しながら、日本語特有のリズムを感じ取ることができる。
6月		調べたことを整理して書こう 田 新聞を作ろう 【コラム】アンケート調査の仕方 【コラム】新聞にのせる写真や図などを選ぶときには	15 書15	◎新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて、伝えたいことが明確になるように文章を書くことができる。 ◎書いた物を読み返し句読点や段落などに気をつけて書くことができる。
		いろいろな意味をもつ言葉	2 伝国②	◎多義語について知り、言葉への興味を広げることができる。
		ふるやのもり	1 読1	◎場面の移り変わりに注意しながら読み聞かせを聞き中心人物の気持ちの変化や情景などについて想像を広げることができる。
7月		一つの花 田 団	8 読6 書2	◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。 ○物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方・考え方の違いに気付くことができる。 ○紹介したい本を選んで読み、それについて書こうとすることの中心を明確にして書いている。
		夏の風景	2 書2	◎夏の風景に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。 ○作った俳句を読み合い、よさなどを交流することができる。

		自分の考えを伝えるには キ	7 書7	◎段落の役割を理解し自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を書くことができる。 ○書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 ○書いた物を読み返し、句読点や段落などに気をつけて書くことができる。
		漢字の広場②	2 書2	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。
		本は友達 「読むことに」について 考えよう かけ 【コラム】 読みたい本の見つけ方	5 読5	◎いろいろな本や文章を、目的に応じた読み方で読むことができる。 ◎目的や必要に応じて本文を引用したり要約したり、心に残ったことを表したりすることができる。
二 学 期	9 月	忘れもの ぼくは川	2 読2	◎二つの詩を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。 ◎表現されている内容や作品中の話者の気持ちがよく分かるように音読することができる。
		カンジーはかせの漢字しりとり	2 伝国2	◎漢字しりとりを楽しみ、漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
		調べたことを整理し、発表しよう だれもがかかわり合えるように 困 困 〈資料〉手と心で読む	15 話・聞15	◎関心のあることなどから話題を決め、必要なことを調べて要点をメモすることができる。 ◎相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方の工夫を考えて話すことができる。 ○話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすることができる。
	10 月	漢字の広場③	2 書2	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。
		読んで考えたことを話し合おう ごんぎつね	14 読11 書3	◎文章を読んで考えたことを発表し合い、互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合うとともに、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。 ◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。 ○考えたことが文章に表れているか見直すとともに書いた物を発表し合い意見を伝え合うことができる。
		秋の風景	2 書2	◎秋の風景に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。
	11 月	慣用句	2 伝国2	◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、生活の中で使うことができる。
		段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう アップとルーズで伝える 【コラム】言葉で変わる写真の印象	8 読8	◎それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。 ○写真と対応した部分に注意して読み取り、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴を整理することができる。
		「クラブリーフレット」を作ろう	8 書8	◎書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。
	12 月	短歌・俳句に親しもう(二) 国 団	1 伝国1	◎短歌や俳句を音読して、情景を想像しながら、日本語特有のリズムを感じ取ることができる。
心に残ったことを、感想		8	◎文章を読んで感じたことを発表し合い、感じ方の違いに気付	

		文に書こう プラタナスの木	読 8	くことができる。 ○登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。
		漢字の広場④	2 書 2	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。
		文と文をつなぐ言葉	4 書 2 伝国 2	◎文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使うことができる。 ○文と文をつなぐ接続語の役割を知り、文章をよりよい表現にすることができる。
三 学 期	1 月	のはらうた	2 読 2	◎野原の住人の性格や思いを想像しながら、詩を読むことができる。 ○好きな詩を選んで発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。
		野原に集まれ	5 書 5	◎前教材「のはらうた」で読んだ数編の詩を参考に、自分が作りたい詩について考えることができる。 ○書いた詩を読み合い、表現のよさなどについて交流することができる。
		冬の風景	2 書 2	◎冬の風景に興味をもち、相手を決めて手紙を書くことができる。
		きょうみをもったところを中心に、しょうかいしよう ウナギのなぞを追って	8 読 8	◎事実と考察の関係を押さえて読み、自分が興味をもったところ、感心したところを中心に、文章を要約したり引用したりして紹介することができる。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気付くことができる。
		漢字の広場⑤	2 書 2	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。
	2 月	聞き取りメモの工夫	6 話・聞 6	◎自分の目的と照らして、自分にとって大切な情報は何かを考えながら聞くことができる。 ○話そうとすることについて、要点をメモすることができる。
		熟語の意味	2 伝国②	◎訓や漢字の組み合わせを手がかりにして、熟語の意味を考えるとともに、これまでに学習した漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
		本で調べてほうこくする 文章を書こう わたしの研究レポート	15 書 15	◎書くことを決めて必要な事柄を調べ、調べてわかったことを明確にして文章を書くことができる。 ○表現したり理解したりするために必要な語句について辞書を利用して調べることができる。
	3 月	まちがえやすい漢字	2 伝 2	◎同音異義語や同訓異字の使い分けを通して漢字や語句の意味の違いに気付く文や文章の中で使うことができる。 ○漢字と仮名を用いた表記に関心をもつことができる。
		読んで感じたことが伝わるように音読しよう 初雪のふる日	10 読⑦ 書③	◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景を読み取る。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。 ○考えや感想の中心を明確にして、理由を挙げながら書く。 ・物語を読み、読後感が生まれる秘密を探る。
漢字の広場⑥		2 書 2	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。	
十年後のわたしへ		2 書 2	◎目的にあった内容を考えて手紙を書くことができる。 ○書いた手紙を読み返し、文字表記の間違いを正したりよりよい表現に書き直したりすることができる。	

第5学年 国語科年間指導計画 単元一覧表

一学期	月	単元名	時数	◎◎・指導目標 ■主な学習活動 伝国・・・「伝統的な言語活動と国語の特質に関する事項」
4月		教えてあなたのこと	1話・聞①	◎楽しみながら、インタビューしたり人物紹介をしたりすることができる。 ■インタビューをする。 ■人物紹介をする。
		5年生の国語学習を始めよう ふるさと あめ玉	3読③	○場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、それが表れるように音読することができる。 ○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化・情景などについて、想像しながら読むことができる。 ・文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(伝国) ■音読する。
		1 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう なまえつけてよ	4読④	◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えて、作品についての自分の考えをもち、それを発表し合ったり深めたりすることができる。 ・読み取ったことと感想、意見などを区別して書く。 ・文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。(伝国) ■感想を伝え合う。
		漢字の広場①	1書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国) ○書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。 ■絵を説明する文章を書く。
		春の空 才 国	2書②	◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に興味をもつことができる。(伝国) ○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。 ・書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。
		新聞を読もう キ	3読③	◎複数の新聞記事を読み比べることの意味や効果を知ったり、見出しやリードから要旨を捉えたりすることができる。 ■編集のしかたや記事の書き方に注意して、新聞を読む。
5月		漢字の成り立ち 国 才	2伝国②	◎漢字の成り立ちについて理解することができる。(伝国)
		2 筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう 見立てる 生き物は円柱形 環	7読⑦	◎要旨を捉えて自分の考えを明確にしながらか読み、筆者の考えや文章の書き方についての感想を発表し合ったり、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・例の挙げかたや文末表現の役割について理解することができる。(伝国) ■筆者の考えを捉え、自分の考えを発表する。
		漢字の広場②	1書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国) ・書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。 ■絵をもとに、物語を書く。
		古典の世界(一) 国 才	2伝国②	◎昔の人のものの見方や感じ方について知ることができる。(伝国) ○古典の文章を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、文章の内容の大体を知ることができる。(伝国) ■音読する。
		きいて、きいて、きいてみよう キ	6話・聞⑥	◎話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。 ○収集した知識や情報を関連付け、目的や意図に応じて構成を

6月			工夫しながら、適切な言葉遣いで話すことができる。 ■インタビューをする。 ■インタビューを聞いて、報告する。
	敬語 キ	2 伝国②	◎日常よく使われる敬語の使い方に慣れることができる。 (伝国)
	本は友達 広がる、つながる、わたしたちの読書 読んで、自分の生き方について考えよう 千年の釘にいどむ 〔コラム〕著作権について知ろう 国 才	5 読⑤	◎複数の本や文章を読んだ中から、薦めたい本を選ぶことができる。 ○本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ■本を読んで、その本を薦める文章を書く。
	漢字の広場③	1 書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国) ・書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。
夏の夜 国 才	2 書②	◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感、言葉の使い方に関心をもつことができる。(伝国) ○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。 ・書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。	
7月	3 事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう 次への一歩——活動報告書	10 書⑩	◎文章全体の構成の効果を考え、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、表現の効果などについて工夫することができる。 ■活動を報告する文章を書く。
二学期 9月	からたちの花	1 読①	◎自分の思いや考えが伝わるように音読するとともに、優れた叙述について、自分の考えをまとめることができる。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。(伝国) ■言葉のリズムを味わいながら音読する。
	カンジ博士の暗号解読	2 伝国②	◎クイズを通して同じ音の漢字を書き分けるとともに、5年生までに学習した漢字を読んだり書いたりすることができる。(伝国)
	日常を十七音で	3 書③	◎言葉の選び方や表現の効果について、確かめたり工夫したりすることができる。 ○作った俳句を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。 ■俳句を作る。
	和語・漢語・外来語 国	2 伝国②	◎和語・漢語・外来語の由来を理解し、語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国)
	4 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう 明日をつくるわたしたち 〔コラム〕意見が対立したときには	14 書⑧ 話・聞⑥	◎話題を決めて、収集した知識や情報を関連付け、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。 ○自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を書くことができる。 ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国) ■自分の考えをまとめて、討論する。 ■自分たちの身の回りの問題について調べ、解決するための提案書を書く。
10月	漢字の読み方と使い方	2 伝国②	◎複数の音をもつ漢字の読み方と、特別な読み方をする言葉(「付表の語」)について理解し、知識をもつことができる。(伝国)

11月	5 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを付いたえ合おう 大造じいさんとガン	7 読⑦	◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、考えを広げたり深めたりすることができる。 ○心情や場面の様子が伝わるように音読することができる。 ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国)
	漢字の広場④	1 書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国) ・書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。
	秋の夕暮れ 国 才	2 書②	◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。(伝国) ○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。 ・書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。
	6 説明のしかたのくふうを見つけ、話し合おう 天気を予想する	6 読⑥	◎筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について考えをまとめて発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ○筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。 ・文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。(伝国) ■筆者の説明の工夫について考えをまとめる。
12月	グラフや表を用いて書こう	6 書⑥	◎目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど、書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。 ○書いたものを発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。 ■統計資料を根拠に、意見文を書く。
	同じ読み方の漢字 〔コラム〕文の組み立て	2 伝国②	◎同訓異字、同音異義語について知り、言葉や漢字への興味を深めることができる。 ◎文章中の主語と述語の関係に注意し、文の内容を捉えたり、書き表したりすることができる。
	7 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう 百年後のふるさとを守る 園	7 読⑦	◎目的に応じて、本や文章を比べたり関連させたりして読み、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(伝国) ■伝記を読み、自分の生き方について考える。
	古典の世界(二) 国 才	1 伝国①	◎漢文を音読し、漢文特有の言い回しやリズムを味わうとともに、文章の内容の大体を知ることができる。 ■音読する。
	分かりやすく伝える	3 書② 伝国①	◎語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国) ○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(伝国) ・表現の効果などについて確かめたり工夫したりすることができる。
三学期 1月	詩の楽しみ方を見つけよう	2 読②	◎内容や描写を捉え、優れた叙述を味わいながら、自分なりに音読したり、その詩のよさを楽しむ方法を考えたりすることができる。 ・詩に用いられている表現の工夫に気づくことができる。(伝国) ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国) ■詩の楽しみ方を見付ける。
	8 事例と意見の関係を	6	◎事実と感想、意見との関係を押さえて、自分の考えを明確

2 月	おさえて、自分の考えを まとめよう 想像力のスイッチを入れ よう 〔コラム〕直接対面しな い相手とのやりとりでは	読⑥	<p>にしておむことができる。</p> <p>○筆者の考えに対する自分の考えを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。</p> <p>■意見を述べた文章を読み、自分の課題解決に生かす。</p>
	漢字の広場⑤	1 書①	<p>◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国)</p> <p>・書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。</p>
	見るなのざしき	1 読①	<p>◎読みきかせを聞きながら、登場人物の行動を中心に、場面の様子に想像をひろげることができる。</p> <p>・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。</p> <p>■昔話の読みきかせを聞く。</p>
	ずいせんします	6 話・聞⑥	<p>◎考えたことや伝えたいことなどから話題を集め、収集した知識や情報を関連づけることができる。</p> <p>◎目的や意図に応じて、事例が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。</p> <p>・話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。(伝国)</p> <p>■理由を明確にして、推薦したり、それを聞いたりする。</p>
	複合語	2 伝国②	<p>◎語句の構成、変化などについての理解を深めるとともに、語句の由来などに関心をもつことができる。</p> <p>・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。</p>
	冬の朝 国 才	2 書②	<p>◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。(伝国)</p> <p>○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。</p> <p>・書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。</p>
3 月	9 特色をとらえながら 読み、物語をめぐって話 し合おう わらぐつの中の神様 〔コラム〕方言と共通語	7 読⑥ 話聞①	<p>◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。</p> <p>○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むことができる。</p> <p>○共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すことができる。</p> <p>・物語に用いられている表現の工夫に気づくことができる。(伝国)</p> <p>■物語を読んで、自分の考えをまとめる。</p>
	一枚の写真から	5 書⑤	<p>◎写真から想像を広げて、物語に書くことを考え、文章全体の構成の効果や表現の効果を生かして物語を書くことができる。</p> <p>○書いたものを発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。</p> <p>・物語にはいろいろな構成があることを理解することができる。(伝国)</p> <p>■物語を書く。</p>
	漢字の広場⑥	1 書①	<p>◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。</p> <p>○書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。</p>
	六年生になったら	1 書①	<p>◎考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を集めることができる。</p> <p>・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国)</p> <p>■自分の思いを伝える文章を書く。</p>

第6学年 国語科年間指導計画 単元一覧表

中央区立 久松小学校

一学期	月	単元名	時数	◎◎・指導目標 ■主な学習活動 伝国・・・「伝統的な言語活動と国語の特質に関する事項」
4月		つないで、つないで、一つのお話	1 話聞①	◎話し手の一文の内容をとらえながら聞き、自分の言葉で続きのお話を作ることができる。 ■グループで話し合い、一つのお話を作る。
		支度	1 読①	◎詩を読んで感じたことや考えたことが伝わるように音読することができる。 ○詩における比喩や反復の表現に気づくことができる。 (伝国) ■詩を味わう。
		1 登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう カレーライス	5 読⑤	◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、自分の考えをまとめることができる。 ○教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・自分の感想を表すために、的確な言葉を用いることができる。(伝国) ■感想を書く。
		漢字の広場①	1 書①	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国) ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。 ■絵を説明する文章を書く。
		春のいぶき	2 書②	◎「春」を表す言葉とそれらがもつ意味を知り、その語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国) ○「春」を感じるものから書くことを決め、表現の効果などを確かめたり、工夫したりして文章を書くことができる。 ■「春」を感じるものについて文章を書く。
5月		2 筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	7 読⑦	◎筆者の主張と事例を利用して、考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ○事実と感想・意見などの関係を押さえ、筆者の意図を捉えながら、自分の考えを明確にして読むことができる。 ・文章には、いろいろな構成があることを理解することができる。(伝国) ■意見を述べた文章を読み、筆者の考えに対する自分の考えを発表する。
		学級討論会をしよう 〔コラム〕伝えにくいことを伝える	8 話聞⑧	◎互いの立場や意図をはっきりさせながら、疑問点を整理して自分の意見を言ったり、質問をしたりして、討論することができる。 ○討論会の話題に沿って、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。 ・討論会における言葉の使い方などについて関心をもつことができる。(伝国) ■討論会をする。
6月		漢字の形と音・意味	2 伝国②	◎漢字を組み立てている部分には、音を表すものや意味を表すものがあることを理解することができる。(伝国)
		本は友達 わたしと本	5 読⑤	◎これまでの自分と本との関わり方を振り返り、グループで発表し合うことで、今後の読書生活の幅を広げることが

		森へ		<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感上げを明確に表現するため、語句と語句の関係を理解し、文章全体の構成の効果を考えることができる。 <p>(伝国)</p> <p>■本推薦する文章を書く。</p>
		漢字の広場②	1 書①	<p>◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。 <p>■絵を説明する文章を書く。</p>
		河鹿の屏風	1 読①	<p>◎読み聞かせを聞きながら、登場人物の相互関係や心情、場面を捉えることができる。</p> <p>■昔話の読みきかせを聞く。</p>
		夏のさかり 国 才	2 書②	<p>◎「夏」を表す言葉を知り、それらの言葉がもつ語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。</p> <p>(伝国)</p> <p>○「夏」から想像する言葉を集め、表現を工夫して俳句を作ることができる。</p> <p>■俳句を作る。</p>
	7月	3 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう ようこそ、わたしたちの町へ 4 伝統文化を楽しもう 伝えられてきたもの 才	1 2 書⑫	<p>◎パンフレットという様式の特徴を理解したうえで、集めた事柄を整理し、文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文などを工夫することができる。</p> <p>○引用したり、写真や図を用いたりして、表現を工夫し、伝えたいことが明確になるように書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットについて、目的や構成の観点から助言し合うことができる。 <p>■町のよさを多くの人に伝えるための文章を書き、編集する。</p>
二学期	9月	せんねん まんねん	1 読①	<p>◎詩を読んで感じたことや考えたことが伝わるように音読することができる。</p> <p>○詩における反復表現の工夫に気づくことができる。(伝国)</p> <p>■詩を音読する。</p>
		熟語の成り立ち	2 伝国②	<p>◎熟語の構成などについて理解を深めることができる。</p> <p>(伝国)</p>
		たのしみは 才 国	3 書③	<p>◎短歌のもつ表現の効果を確かめたり、工夫したりすることができる。</p> <p>◎作った短歌を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。</p> <p>○短歌を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(伝国)</p> <p>■短歌を作る。</p>
		漢字の広場③	1 書①	<p>◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。 <p>■物語を書く。</p>
		4 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう 未来がよりよくあるため	1 1 書⑦ 話聞④	<p>◎話し合いで深めた考えをもとに、構成を工夫して、自分の意見を明確に伝える文章を書くことができる。</p> <p>◎互いの考えの違いや意図をはっきりさせ計画的に話し合うことができる。</p>

10月	に 〔資料〕 平和のとりでを築く 才 平		○よりよい未来を巡る自分の意見が説得力をもつように具体例や資料を集め、便宜図表やグラフなどを用いることができる。 ■意見文を書く。 ■グループで話し合う。
	漢字の広場④	1書①	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国) ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。 ■絵を説明する文章を書く。
	生活の中の言葉 キ	2伝国②	◎日常の言語生活を見直し、敬語を適切に使ったり、世代間で言葉遣いが違うことに気づいたりすることができる。(伝国)
	5 自分の感じたことを、朗読で表現しよう やまなし 〔資料〕 イーハトーブの夢	8読⑧	◎作品の特徴や作者の思いを捉え、自分の感じたことが伝わるように朗読することができる。 ○場面についての描写を捉え、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れたた叙述について自分の考えをまとめることができる。 ■朗読で表現する。 ■関連する文章を読む。
	秋の深まり 才 国	2書②	◎「秋」を感じる言葉を見つけて短歌を創作することができる。 ○短歌を発表し、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。 ■短歌を作る。
11月	6 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう 『鳥獣戯画』を読む 〔コラム〕 絵画や写真を見るときは 国 才	6読⑥	◎絵と文章との関係を押さえて筆者の考え方を捉え、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ■絵を解説した文章を読み、自分のものの見方を広げる。
	この絵、私はこう見る	6書⑥	◎表現の効果を確かめたり工夫したりして書くことができる。 ○絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通して事柄を整理することができる。 ○事実と感想・意見などを区別するとともに、必要に応じて絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。 ■絵から読み取ったこと、感じたことを伝える文章を書く。
	漢字を正しく使えるように 〔コラム〕 覚えておきたい言葉	2伝国②	◎送り仮名や仮名遣いに注意して漢字を正しく書くことができる。(伝国)
12月	7 伝統文化を楽しもう 伝えられてきたもの 狂言 柿山伏 柿山伏について 国 才	5読⑤	◎「柿山伏」を、役割を決めて自分の思いが伝わるように音読することができる。 ○昔の人のものの見方や感じ方を知ったり、時間の経過による文字や言葉の変化に気づいたりすることができる。(伝国) ■伝統文化を楽しむ。

		日本で使う文字 国	2 伝国 2	◎仮名および漢字の由来、特質などについて理解する。 (伝国)
		漢字の広場⑤	1 書①	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国) ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。 ■絵を説明する文章を書く。
		表現を選ぶ	3 書② 伝国①	◎話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。(伝国) ○語句の係り方や照応のしかたに気づくことができる。(伝国) ・目的に応じて書き言葉に表し、表現のしかたや構成に着目して助言することができる。 ■話し言葉を書き言葉に書き換える。
		天地の文	1 伝国①	◎親しみやすい古文について、内容の大体を知り、音読することができる。(伝国) ◎昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(伝国) ■古文を音読する。
三 学 期	1 月	未知へ	1 読①	◎優れた叙述を味わいながら、自分の気持ちと重ねて音読したり、考えたりすることができる。 ■詩を音読する。
		8 筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書こう 自然に学ぶ暮らし 環	6 読⑥	◎事実と感想・意見などとの関係を押さえながら文章の内容を的確に押さえ、筆者の考えと比べながら自分の考えを明確にすることができる。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ■意見を述べた文章を読む。
		漢字の広場⑥	1 書①	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国) ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。 ■絵を説明する文章を書く。
		忘れられない言葉	6 書⑥	◎経験から書くことを決め、そこから自分の考えや気持ちを掘り起こし、書く事柄を整理することができる。 ◎事実と感想・意見などを区別するとともに、意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。 ■随筆を書く。
	2 月	カンジ博士の山登り	2 伝国 ②	◎漢字クイズを通して、漢字の知識を確かめることができる。(伝国) ○紛らわしい送り仮名に気をつけて、読んだり書いたりすることができる。(伝国)
春を待つ冬		2 書②	◎冬を感じる言葉を知り、手紙を書くことができる。 ・自分の思いが伝わるように表現の効果を工夫することができる。 ■手紙を書く。	
9 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう 海の命		6 読⑥	◎教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。	

3 月	環		■物語を読み、人物の生き方について話し合う。
	今、わたしは、ぼくは	6 話聞⑥	◎今思うことを伝えるために、必要な資料を準備し、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。 ○話し手の思いを受け止めながら聞き、自分の思いや体験と比べながら感想をまとめることができる。 ■資料を提示しながらスピーチをする。
	卒業するみなさんへ 中学へつなげよう 生きる 生き物はつながりの中に かなえられた願い—日本人になること	5 読⑤	◎教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ○自分の思い考えが伝わるように朗読をすることができる。 ○作品や文章の中での言葉の使われ方や表現の工夫に気づくことができる。 ■課題を決め、成果を発表する。
	キ		